CONTENTS

Cellist's update メンバーズ チェロサロン報告 事務局から

開催報告

20 周年記念フェスティバル 2-3

第8回チェロの日 Report 4-5

vol.

スピッカン 3分の2ほど弾いたところ3分の2ほど弾いたところ3分の2ほど弾いたところクトに使い、下降形では指をクトに使い、下降形では指をがはないので、4拍子での2イ拍目のビート感を無くしいけない(33小節からの変スピッカートでは、弓の木がを上下させ、毛は弦から離い(毛が弦から離れている間でもをコントロール出来ない(毛が弦から離れている間でした。Vcアンサンブルでは「ア



た皆さんにして質問をされ に質問をされており、での後には、参加者の皆様 と同様の弾き な半(の声部にも書かれるの声部にも書かれるの声部にも書かれるのが) となどを表している。 0 一ヴァイスの動きを 0) 賢人》。 Cello Salon

- ロ歴 37年と

るため と 楽譜に色 エ木 かに弾 口 の

事務局からのお知らせ

■第2回ジュニア・チェロ・キャンプ開催決定

日程:2018年9月15日(土)・16日(日) 会場:桐朋学園大学調布キャンパス

募集内容:アカデミー (ソロ演奏コース、アンサンブルコース)、発表会、懇親会など

対象:平成30年9月時点で、小・中学校に通っている児童・生徒

講師陣:堀了介、堤剛、中島顕、山崎伸子、ほか

※詳細はウェブをご覧ください。募集要項が必要な方は事務局までお知らせください。

日程:2019年2月2日(土)・3日(日)

出演者:未定

※詳細が決まり次第、 チラシを送付いたします。 ぜひ今からご予定ください。

編集後記

昨年7月8日に社会福祉法人「もえぎの会」でア ウトリーチを実施して参りました。参加者は矢口里奈 子さん (R-434)、石島栄一さん (R-016)、田中渚さ ん (R-342)、芳山朋史さん (R-279) です。 クラシッ ク曲、歌謡曲、映画・アニメ音楽などをお届けしまし た。チェロには様々な奏法、音色があることをお伝え したいとの想いから、矢口さんには、パガニーニ作曲 《24 のカプリース》から演奏いただきました。お集ま りいただいた皆さまには、楽しく、そして時には真剣 に聴いていただき、大変和やかな会となりました。

■第9回チェロの日開催決定

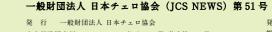
会場: サントリーホール ブルーローズ

チェロ協会の公式サイトに情報を掲載できます

チェロ協会の公式サイトでは、公演情報や会員の皆さまの チェリストとしてのプロフィールを無料で掲載しております。







悩み

2018年4月27日発行

日本チェロ協会事務局 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 22 階 私書箱 509号 電話 03-3505-1991 FAX 03-3582-1310 E-mail office@cello.or.jp

編集協力 株式会社アイデアリズム

JCS NEWS

第8回チェ

上の目

ぜひ情報をお寄せください。

シ俯 ョ瞰

お昼休みを挟んで14時に開演した記念コンサートは、まさにチェロ協会ならではの豪華なメンバーとバラエティに富んだ3部構成でお届けしました。 第1部では、世界的に活躍している宮田大さんがバッハの《無伴奏組曲第1番》を演奏に記念コンサートの幕開けにふさわしい演奏に記念コンサートの幕開けにふさわしい演奏に記念コンサートの幕開けにふさわしい演奏に記念コンサートの幕開けにふさわしい演奏に記念コンサートの幕開けにふさわしい演奏に記念コンサートの幕開けにふさわしい演奏に記念コンサートの非けにふされ・門脇大樹さん・辻本玲さんがオーケストラパートを3かだけの特別メンバーとは思えない素晴らしいアンサンブルで、聴衆を魅了しました。

記念コンサートに続き、協会20周年を記念して小林幸太郎さんに委嘱されたチェロアンサンブル曲の試演会が開催されました。チェックファンファーレ》を、小林さんご自身による指導によって試演しました。試演当初は初めてのアンサンブル曲(チェロの為のハーモニックファンファーレ》を、小林さんご自身による指導によって試演しました。試演当初は初めてのアンサンブルや慣れないリズムに戸惑っていた参加者も、練習が進むにつれてまとまり、暖かみのあるチェロの音色を最大限に活かした壮大なファンファーレを初演された。 懇親会は か

賑々 など にで

チェロ 12 人によるアンサンブル

締めくくられまし された演奏家のち された演奏家のち も挨拶があり、20 の方々や会長・副会長ない方々や会長・副会長なました。フェスティバルの方々を表・副会長ないには、藤井直さんの司会

4人のチェロ奏者によるチェロ協奏曲第1番(ハイドン)の演奏

参加者には会報の 20 周年記念号も配布され、手に取った方々は興味深く記事を読まれていました。

20周年記念委嘱曲の試演会を開催

日本チェロ協会の設立 20 周年を祝うフェスティバルを、平成 29年 11月 19日(日) にサントリーホール (東京都港区) にて開催しました。 この催しには、会員をはじめチェロ協会に縁のある 100 名を超える方々が集い、20 年間の協会の歩みを共に祝いました。

会場となったサントリーホール ブルーローズには、活動の軌跡をたどったスライドショーが放映されたほか、過去に発行した会報「JCS News」のバックナンバーや、イベントで作成されたチラシやプログラムが展示されました。

→ マ → トーと情報しい、2024のほどな分かる(世代交代しているわけではなく厚みを増している)。そんな中一番興味深かったのは、トークショーⅡ「チェリストレガシー」の先生方の思い出話などなど。出来れば1日中でも聞いていたいほどだった。単にば1日中でも聞いていたいほどだった。単にば1日中でも聞いていたいほどだった。単には1日中でも聞いていたいほどだった。単には1日中でも聞いていたいほどだった。単には1日中でも聞いていたいほどだった。単には1日中でも聞いていたいほどだった。単には1日中でも聞いていたいほどだった。単には1日中でも聞いていたいほどだった。単には1日中でも聞いていたいはどだった。単には11日中でも聞いていたいはでだった。単には11日中でも聞いていた。とが沢山ある。

「さて、個人的にこれまでのチェロ協会のイベントで特に印象深かったことと言えば、設立総会が過ぎ、2年ほどたって山中湖の私のでンションで開かれたサマーキャンプ。それは夢のような信じがたい時間だった。プロココングレスの1週間も、多数の世界的チェロココングレスの1週間も、多数の世界的チェローポーヴィッチ、シュタルケル、グリーンハウス、この3人の対談も印象深い。皮肉屋のシュタルケルが「演奏家としてどれたけフットライトを浴びるかは関係ない。(中略)チェロを弾いてこられて幸せな人生だった」と率直に語っていた。

「される皆様には感謝の言葉しかないが、これらによって、あっという間にチェロ仲間ので幸せになる、こんなに素晴らしい活動を展開している会は他にはなかなかないのではないだろう。

20周年記念フェスティバルを終えて

の言葉しかない という間にチェワ という間にチェワ というでと思う なに素晴らし

楽しみにしているが、さん

Ó

ル

栄で、とても幸せな1日でよ演奏会に参加する機会までいることができ、また新人会員めでとうございます。記念せ aことができ、 いでとうござい この度は、日 協会20周年本当にお か わらず

するの目に移めて世様にま会しするので 実はかなり前から緊張をしておりました。で すがそこはチェロ族!朝、新橋の駅で電車を 持っている時に、チェロを持った方に「おは ようございます。そのケースはアコードです ね。ちょっとなかなか見ない色?」と笑顔で 話しかけてくださったんです。どこの誰とも 知らなくても、チェロさえ持っていればもう に凄く救われました。リハーサルも緊張しま したが、どことなくホッとする暖かな雰囲気 にはシンポジウムを拝聴させていただき、と ても楽しく演奏する事が出来ました。ありが とうございました。リハーサルと本番の間 にはシンポジウムを拝聴させていただき、と でき楽しく演奏する事が出来ました。ありが とうございました。リハーサルと本番の間 にはシンポジウムを拝聴させていただき、と とても嬉しかったです。またその中で、過去 に参加したインターナショナル・チェロ・コ ングレス・イン・神戸 2005をチェロ協 会が共催していた事を知り大変懐かしくもあ り、レセプションでは懐かしい方にお会い出 来たり、声をかけていただいたり、再会に花 来たり、声をかけていただいたり、再会に花 来たり、声をかけていただいたり、再会に花 で、きっと、それはひとえに事務局の方々の サポートがあってこその事なのだと思いま す。 の日に初めて皆様にお会いす?は会場に行くまで雰囲気等が の トークショーでは、創成期からの歴史や知られざるご苦労について伺い、先生方の留学当時の貴重な体験談等を聞かせていただきました。特にストラディヴァリウスの独特なた。特にストラディヴァリウスの独特ない。とにより、驚きを以て実感されたとのエピソードが印象的でした。チェロの魅力が存分に伝わる趣向の記念コンサートでは、皆様方の弾身の演奏に感激!そこには、若手演奏家への大きな期待と、次世代を育てていかれる気概が示されていたように思います。《チェロの為のハーモニックファンファーレ》の演奏は、まさにプロフェッショナルとアマチュアの間の垣根がない日本チェロ協会ならではの離けでは全貌が神秘のベールに覆われていたため、宛ら一人一人がピースを大事に持ち寄り、一丸となって宝探しの地図を完成させ、冒険の旅に出るようなイメージでした。当日90名に石ブルーローズが轟音に包まれ、演奏回数を重ねるうちに音の塊が音楽に変わっていたたきました。先輩方は「こういう集まりはチェロだけでしょ!」、と誇らしげに云われます。懇親会でも和やかな輪に入れていただき、心より感謝申し上げます。 うございました。

が物と存がの方々

て、誠にありがといしました。初め口を習い始めるの口を習い始めるの って練習し、いらなり、毎回チェも充実した一日

協会ならでは

| 周年記念フェスティバル

心の高さがうかがえました。

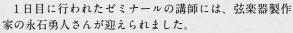
ゼミナール後半は、ごく身近な話題、「チェロのメンテ ナンス」について。日常的なクリーニングをレベル1と して、そこからレベル 10 まで段階に分けられ、メンテナ

ちは永石さんの話に興味深く耳を傾 け、最後に設けられた質疑応答は、時 間ギリギリまで続きました。





チェロ・ゼミナール チェロとの付き合い方



永石さんはヴァイオリン製作のメッカ、イタリア・ク レモナに工房を構えています。まず語られたのは、イタ リアの弦楽器作りについて。

クレモナは人口約七千人の街。そこに、現在約150名 の弦楽器製作家が住んでいるそうです。クレモナのヴァ イオリン作りの知名度が上がったのは1500年頃のこと。 そして、1700年前後の黄金期といわれるこの時期、この 地で製作された楽器は、現在高値で売買されています。「例 えば10億円、20億円で……」という永石さんのお話に、 思わず笑ってしまう聴講生も。

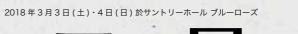
また、同地にあるヴァイオリン製作学校についても触 れられ、1941年に同校が初めてメディアに紹介された時 の貴重な映像が流されました。この製作学校は1938年 に創設されており、思いのほか歴史は浅いのですが、世 界の製作家のほとんどがこの製作学校でプロへの道をス タートさせており、世界的に影響力のある学校であると のこと。日本人留学生も多く、現在は約15名の日本人留 学生が学んでいるそうです。聴講生から、「今でもこの学 校はあるのですか? どのくらいの規模なのですか?」 といった質問が投げかけられ、聴講生の楽器製作への関

続いて、弦楽器製作の道具についてのお話。ストラディ ヴァリの時代に使われていた道具と、現在永石さんが使 用している道具が映像で紹介されました。500年以上の 時を経た今でも、道具の構造はそれ程変わっていないそ

ンスの方法と必要性について紹介され

聴講したチェリストの集い参加者た





第8回

Text:サラサーテ編集部 向後由美 Photo: © Takashi Fujimoto



チェロ・ゼミナール 音響と設計

2日目に行われたゼミナールには、音響建築に携わり、 自らもチェロを弾く田中渚さんが登壇。音楽ホールはど のようなことに配慮され設計されているのか、その仕組 みをわかりやすく説明してくださいました。

田中さんは高校二年生の時に初めて600人規模のホー ルでソロを弾き、会場に響きわたる音に感動。将来こう いった空間を創りたい、と思ったのが音響建築の道に進 むきっかけになったそうです。3年前に大手建設会社か ら独立。現在は、空音舎一級建築士事務所を主宰し、音 に関わる空間を設計しています。

仕事柄、「良いホールとは、どのようなホールですか?」 と尋ねられることが多いという田中さん。しかし、ホー ルの良さは、そのホールへの関わり方や好みでも変わっ てくるため、とても難しい質問なのだそうです。田中さ んの場合は、ホールを設計する上で「演奏者の意図がそ のまま観客に伝わるような空間 | を理想とし、目標にし ているとのこと。そのために、演奏者の想いを読み取る よう心掛けている、とのことでした。逆に、「演奏者は空 間を知ることで、もっと良い演奏ができるのではないか と思います」と語り、ホールの音響設計のお話に入りま

音響設計の話題の中で興味深かったのは、残響時間に ついて。ホールの善し悪しを語る際、話題に上がること が多いですが、「残響時間はホールを定義するたくさんの 指標の中のひとつに過ぎないということを覚えておいて ほしい」と説明がなされました。

最後に、このゼミナールの後に聴講生たちが演奏する ブルーローズの音響について触れられました。

「音に包まれた空間」を実現するために随所に工夫が凝 らされているとのこと。例えば天井に取り付けられたシャ ンデリアは、細かなクリスタルが音を多方面に拡散する 構造になっており、デザイン性と機能性とを兼ね備えた 造りになっているのだそう。

田中さんは「チェロと共に会場に赴いた際は、ホール の音響や造りにも関心を持ってもらえると、益々演奏が 楽しくなると思います」とこのゼミナールを締めくくり







チェロと仲良くなる日

第一部は、日本とイギリスとを拠点に演奏活動を展開している伊藤悠貴さんが 登場。共演は長年一緒に演奏しているというピアニストの入江一雄さん。自身が 得意とするラフマニノフの《チェロ・ソナタ》が演奏されました。伊藤さんは、 プロのチェリストになることを意識し始めた頃にラフマニノフの作品の素晴らし さに惹かれるようになったといいます。以来、ラフマニノフに関するあらゆる文 献を研究、チェロだけではなくピアノの作品も自ら弾くほど。この日は、メラン コリックな一面を持つこの作品をピアニストの入江さんと息の合った演奏で歌い 上げました。

第二部は、植草ひろみさんが、ピアニストの松浦朋子さんとの演奏で、ピアソ ラ (ブラガード編) の《アディオス・ノニーノ》、ブラガードの《チャカレーラ》、 《グラシエラとブエノスアイレス》、ティラオ(ブラガード編)の《小さなタンゴ》、 そして植草さんのオリジナル曲《ブエノスアイレス大通り~ブラガードに捧ぐ》

植草さんは東京藝術大学在学中から、クラシック音楽だけではなく、ジャズな ど幅広いジャンルの作品を演奏しています。ブエノスアイレスのチェリストで、 ピアソラの音楽に深く携わっていた故ホセ・ブラガード氏(1915~2017)と交流 があり、生前たくさんの楽譜を託されました。今回は、そのコレクションの中か ら3曲を演奏。植草さんのチェロは情熱的で、そして哀愁を感じさせます。最後 に演奏された植草さんのオリジナル曲は、ブラガード氏に捧げられた曲で、彼へ の思いの深さが感じられました。

第三部は日本チェロ協会会長、堤剛さんが、圧巻

アナ大学に留学をしています。この日演奏されたコ ダーイの《無伴奏チェロ・ソナタ》作品8は、堤さ んがその留学中に師事したヤーノシュ・シュタルケ ル氏に教えを受けた作品とのこと。随所にちりばめ られた高度なテクニックに客席は釘付けでした。



懇親会の様子

の演奏を聴かせました。 堤さんは、桐朋学園を経て、アメリカ・インディ

プログラム最後は、ヴィラ=ロボスの《ブラジル風バッハ第1番》。弾き終え た時の奏者たちの笑顔に、こちらもあたたかい気持ちに。 アンコールにはアンダーソンの《プリンク・プランク・プランク》が演奏され、

た。

佐

良い演奏に客席もひき込まれていきました。

チェロでひとつになる日

第一部は二人の若手チェリストにより無伴奏作品が演奏されました。最初に

登場したのは東京藝術大学附属音楽高校に在学中の泉優志さん。客席の聴衆と、

チェリストの集い参加者たちが見守る中演奏された黛敏郎の《文楽》は、力強

次に登場したのは桐朋学園大学音楽学部に在籍する佐山裕樹さん。カサドの

第二部はチェリストの集い参加者によるチェロ・オーケストラ。鮮やかな水

色のジャケットに身を包んだ山本祐ノ介さんの指揮により、最初に演奏された

のは小林幸太郎作曲《チェロの為のハーモニックファンファーレ》。この作品は

昨年11月19日に開催された「日本チェロ協会20周年記念フェスティバル」の

ために協会が委嘱したチェロの合奏曲です。チェロの魅力を存分に味わうこと

ができるこの作品で、奏者も聴衆も気持ちが高ぶっていく様子がうかがえまし

その後、ワークの《大きな古時計》、井上陽水の《少年時代》とノスタルジッ

クな演奏が続き、客席には涙する人の姿も。続いて演奏されたチャップリンの

《オー・ザット・チェロ》、ピアソラの《フーガ・イ・ミステリオ》は、ノリの

興奮冷めやらぬといった雰囲気の中、今年のチェロの日は幕を閉じました。

《無伴奏チェロ組曲》より第3楽章をエネルギッシュに演奏。聴衆を魅了しました。

いピッツィカートで始まり、文楽の様々な場面が表現豊かに表現されました。

文ルで楽の

志

石

日は、日本を代表するチェ日は、日本を代表するチェロは、日本を代表するチェロの日の中を受講させて頂き、チェを受講させて頂き、チェを受講させて頂き、チェースの内を受講させて頂き、チェースがリアや壁の形状など音がし、どんな響きなのかなったり、顔も自然とあがり、おりも他のパートを聴くことます。

0 Ω 田



R-525 Hajime OTOMO

大友 肇さん

1. 近況を教えてください

ずっと続けているクァルテット・エクセルシ オは結成25年目に入りました。実は昨年より 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団で首 席の仕事をやらせていただいており、日常的に は弦楽四重奏の活動に加え、オーケストラの仕 事も徐々にさせていただいています。

4月の頭に『第3回 ながらの春 室内楽の和

音楽祭 2018』を私が住んでいる千葉県長柄町で開催しました。音楽祭ではエクセ ルシオを中心としたメンバーと私の妻が主宰する音楽院の講師と一緒に演奏をし たり、セミナー等を行い、常設の弦楽四重奏団ならではのものになりつつあるか なと思っています。

・25年の間で、得られているものとは?

まずは、素晴らしい作品に取り組むことができること。4人の仲間それぞれの パートの役割を研究しながら、様々な作曲家が残した多くの作品に取り組むこと で、チェロの表現を探求できることです。

・音楽祭の醍醐味は?

普段とは違う、特別なことができるからこそ、音楽のお祭りといえると思いま す。千葉県長柄町での音楽祭は、弦楽四重奏を中心として、他にもピアノやフルー トなどのレギュラー演奏者も交えての様々な編成の作品を演奏しました。また今 年は室内楽のセミナーを開催したり、徐々に音楽祭として充実した内容になって きています。ここから少しでも室内楽の楽しみを広げることができればうれしい

2. 一番ワクワクするときは、どんなときですか?

いろいろなワクワクを求めて様々な挑戦をしています。弦楽四重奏は4人で活 動をしているわけですので、ゲストを迎えて5重奏、6重奏といった作品に取り 組むことで新たな発見ができることなど。また、何度も何度も演奏する曲のコン セプトを変えることに成功して、新たなアプローチで挑戦できるときなどはかな りワクワクします。

たいていいつも4人だけのリハーサル、本番という環境なので、例えば演 奏上や音楽上のアイデアなどが偏ってくる場合があると思います。そういっ たとき、ゲストの方に入っていただくと、予期しない流れが生まれたり、想 像しなかったアイデアを思いついたり、そういった新しい発見がいつもあり

3. チェロ以外に好きなことはありますか?

映画を見ること、子供たちにご飯を作ること。

4. 20 周年記念フェスティバルのご感想をお聞かせください

チェロが基本となっていながらも幅広い楽しみ方が提案されている様子を みて、大変感銘を受けました。

5. チェロ協会の評議員に新たに加わっていただきましたが、『チェ 口協会に期待すること』はございますか?

日本中のチェリストが加入するという目標を立ててみるのはどうでしょう か。チェロ協会には、特別に上手な人や、まあまあの人、あんまりの人、全 然まだまだの人、いろいろなチェロの腕前の人がいて、なかにはチェロが大 好きだけど全く弾けない人もいたりして、とにかく共通するのは、みんなが チェロが好き、ということですね。すると、チェロ協会の魅力というのは、 そこには、なんだか不思議と分かり合える人たちがいる、ということでしょ うか。チェロを弾いていてとにかくいつも楽しい、というのは理想かもしれ ませんが、時には思うように楽しめないとか、より楽しみたい!という時の 強力な味方が山ほどいる、ということですから、これはすごいことだと思い



公演名/クァルテット・エクセルシオ 第34回 東京定期演奏会

日時/2018年6月12日(火)19:00開演

会場/東京文化会館 小ホール

出演/クァルテット・エクセルシオ 西野ゆか (Vn)・山田百子 (Vn)・吉田有紀子 (Vla)、 大友肇 (Vc)

曲目/ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第6番、モーツァルト:弦楽四重奏曲第15番 ドヴォルザーク: 弦楽四重奏曲第12番「アメリカ」 問/ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

聴きどころ/定期シリーズでは、ベートーヴェンを中心に、これぞ弦楽四重奏曲!と いった選曲で楽しんでいただいています。《アメリカ》は名曲中の名曲、人気曲ですが、 実は定期初登場です。



S-134 Haruma SATO

佐藤 晴真さん

1. 近況を教えてください

ベルリンに留学して早2年が経ち、 今では一人暮らしを満喫しています。 昨年度は留学して初めて、第13回ド メニコ・ガブリエリ・チェロコンクー ル(ベルリン)と第 11 回ルトスワフ スキ国際チェロコンクール(ポーラ

ンド)を受け、大変ありがたいことにその両方で一位を頂くことができました。

2. チェロを始めたきっかけを教えてください

兄と一緒にチェロの演奏を聴き、自分もチェロを弾きたいと思ったのがきっか けです。チェロのずっしりと深く腹に響く音色に夢中になっていたようです。音 楽一家という訳ではないですが、佐藤家では小さい頃から音楽が流れており、音 楽が好きになれる環境で育ったことはとても恵まれていたと感じます。

3. 一番ワクワクするときは、どんなときですか?

室内楽を弾いている時、次に相手がどう弾いてくるか予測しつつ即座に反応し、 音楽で会話ができた時です。

音楽以外では、ネットで日本各地の温泉や行ってみたいレストランを調べてい る時にワクワクします。

4. チェロ以外に好きなことはありますか?

料理は好きで毎日家で作っています。いつもほぼ目分量で味付けしているので、 どんな味になるのか想像しながら研究しています。

5. 今年開催された第11 回ルトスワフスキ国際チェロコンクール(ワ ルシャワ) で見事一位を受賞されましたが、その時のことをお聞かせ いただけませんか?

ルトスワフスキ国際チェロコンクールは、一言で言えばとても"アットホーム"

なコンクールでした。初めての国際コンクールということで、みんなピリピ リしているのかと思っていたら、スタッフの方々もみんな優しく接してくれ ましたし、みんなで作り上げていこうという姿勢も見え、リラックスしてコ ンクールを乗り越えられました。

課題曲も多く、更にそれぞれの曲が作曲された時代も幅広かったので大変 でしたが、本当に色んな方々に支えられこの結果に繋がったのだと思ってい

・コンクールで一番得たものは何ですか?

初めての国際コンクールだったとはいえ出場するからには本気で取り組み たかったので、今までにないほどの練習量をこなしました。その時期はとて も大変でしたが、準備するにあたって私が一演奏家として何が足りないのか 明確に知ることができ、それが一番大きな収穫でした。今回得たものは、主 に"音楽の流れ方"だと思っています。

6. 今後どのようなチェリストとして活動していきたいですか

私の音楽作りに於いて最も大切にしているのは"作曲家の意図"です。作 品がどのように演奏されるべきか日々考えながら研究していますし、これか らもそうありたいと思っています。今までは基本的には楽譜から研究してい たので、これからは、今まで以上に各作曲家についての様々な文献を読み、 幅広く勉強していきたいです。また、古楽にも興味があるので、一度ちゃん と勉強したいと思っています。



公演名/OKAYA CHARITY CONCERT 2018 ~感謝のタベ~

日時/2018年7月31日(火)18:45開演(18:00開場)

会場/日本特殊陶業市民会館 フォレストホール (名古屋市中区金山1丁目5番1号 金山駅下車 徒歩5分)

出演/田中祐子 (Cond)、田村響 (Pf)、徳田真侑 (Vn)、佐藤晴真 (Vc)、名古屋フィ ルハーモニー交響楽団

料金/1,000円(全席指定) 問/クラシック名古屋 TEL: 052-678-5310

聴きどころ/初めてドヴォルザークのチェロ・コンチェルトを弾かせていただきます。 指揮は私が初めてコンチェルトで共演させて頂いた田中祐子さん、ピアニストの田村 響さんはリストのピアノ・コンチェルト第一番を、ヴァイオリニストの徳田真侑さん はグラズノフのヴァイオリン・コンチェルトを演奏されます。盛り沢山のプログラム なので、満足して頂けること間違いなしです!

Cellist's Update



R-025 Tsuvoshi TSUTSUMI

翻さん

1. 近況を教えてください

3月下旬には、サントリーホールと提携関係 にある、シンガポールのヨン・シュー・トー音 楽院(シンガポール国立大学音楽学部)とサン トリーホール室内楽アカデミーの協働プロジェ クトのために現地を訪問しました。室内楽アカ デミーのフェローと音楽院の生徒による共演 や、私はマスタークラスを行ってきました。お 互いに非常に良い結果が生まれ、サントリー ホールそのものが色々なかたちで広がっていく

ことはもちろん、室内楽アカデミーも注目されており、大変意義のあることを行 えているのだと思っています。

5月末には韓国・ソウルでチェロ・フェスティバルに招待されており、6月2日(土) から開催される「サントリーホール チェンバーミュージック・ガーデン」にて、 堤剛プロデュース公演や、ピアノの小山実稚恵さんとのデュオ等に出演します。

2. チェロを始めたきっかけを教えてください

6歳の時、スズキ・メソード (当時は才能教育研究会) でヴァイオリンを始め ました。2年くらい経った頃、鈴木政吉さん(スズキ・メソード創設者・鈴木鎮 一さんのお父様)が1/2サイズのチェロを作り始めたんですね。父が、当時新 橋にあった NHK に勤務していた(東京放送管弦楽団)関係で、新橋の楽器店で 勧められ持ち帰り、試しに弾いてみたところ、こちらの方が合うのではという軽 い気持ちで始めました。

父はコントラバスを弾いていましたが、当時、チェロの大先生である大村卯七 先生についていたこともあり、本当は自分もチェリストになりたかったようです。 私の楽器の変更についてもすぐに了承してくれました。私自身、チェロへ変わっ たのには「父親もチェリストを目指していた」が背景にあるのではと思っており、 父の影響は大きいと思っています。そして母は小学校の教師でしたが声楽家でも あり、この両親からの指導の言葉が、今考えるととても重要であったと思います。

最初の1年は父に手ほどきを受け、それから10年間齋藤秀雄先生に師事いた しました。

スズキ・メソードの教則本についている CD の演奏は、実は私が弾かせて いただいています。喜んでお引き受けしましたが、この CD は教則本に必ず ついていますので、今や世界中、何百万枚と世に出ているのではないでしょ うか。スズキ・メソードの中では「CD のおじさん」と呼ばれていると聞いて います。

3. 第8回チェロの日のご感想をお聞かせください

とても温かく素晴らしい雰囲気でした。一般財団法人になるということも あってか、全体的に前向きな印象を受けました。加えて変な言い方ですが、 追い風が吹いているように感じます。皆さんが良い交流をしていらっしゃる 様子に、チェロをやっていてよかったと改めて思いました。

チェロ・オーケストラでは、年々演奏の水準があがってきていると感じられ、 これも指揮、指導をして下さる山本祐ノ介さんのおかげと感謝しています。

4. プロのチェリストを目指している学生や若いチェリストに望む ことはありますか?

大きな意味で自分を試せることをやっていただきたいです。音、音程、音 楽を創るという作業が、以前より希薄になっていると感じます。チェロを弾 くことは、アナログかもしれませんが、人間的なことと思いますし、自分に 厳しくなければなりません。大変だけれどそれを楽しみとして、人生に活か していけるというのは素晴らしいことだと思います。ポジティブな視点を持っ て努力していってほしいですし、究極には自分のものとして確立し、やがて は広い意味で社会に貢献してもらいたいと思います。それくらいの気概で練 習していくと、音楽は奥が深いものですから、色々極めることができるので はないでしょうか。チェロは死ぬまでのチャレンジで、ずっとやりがいがあり、 それで世の中を豊かにできるならば素晴らしいと思っています。



公演名/チェンバーミュージック・ガーデン 2018

日程/2018年6月2日(土)~17日(日) 会場/サントリーホール ブルーローズ

問/サントリーホール チケットセンター 0570-55-0017

c 中山かつみ

R-253 Mari ENDO

遠藤 真理さん

1. 近況を教えてください

昨年4月から読響ソロ・チェロ奏者として入 団しました、7月下旬には読響と共演したドヴォ ルザークの《チェロ協奏曲》の CD が発売され る予定です。

また、7年目を迎える NHK-FM「きらクラ! | でも毎週パーソナリティを続けています。

・ラジオ番組ならではの面白いエピソー ドなどはありますか?

ラジオはリスナーさんとの距離がとても近いので、分からないことや、何かつ ぶやいたことによっていろんな方向に話が展開することがあります。《アルビノー ニのアダージョ》を流した時、ずっと雨が続いたタイミングだったことがあって、 「この曲には、洗濯物が乾かない」という副題をつけたい、と言ったら、翌週から 「洗濯物が乾かない音楽特集」のような状態に。アレンジものや、色々な演奏をリ クエストいただいたり、とても面白い現象でした。話がどんどん膨らむ事はよく あって、ラジオならではの醍醐味だなと感じます。あとは沢山のゲストの方とコ ラボをできたりすることが楽しいです。

2. チェロを始めたきっかけを教えてください

2歳上の兄が先にヴァイオリンを始めていて、私が3歳になったときに、そろ そろ、とヴァイオリン教室に連れて行かれたことがきっかけでした。

ヴァイオリンの先生に兄弟で同じ楽器ではないほうがいいですよ、と勧められ てチェロに出会いました。

3. 一番ワクワクするときは、どんなときですか?

私は譜読みが早くないので、何度も弾いた曲の新しい側面を発見できた時など です。それは、素晴らしい共演者から感じさせられることが多いですね。

また、子供の成長を見ると、ワクワクを超えて感動することが日々沢山あ ります。

4. チェロ以外に好きなことはありますか?

最近、ヨガを始めました。ちょっと健康になった気がします!ただ、日々 忙しいので続けることは難しいかもしれません。でも頑張ります。

5. 20 周年記念フェスティバルのご感想をお聞かせください

山崎先生との共演、友人との共演はとても楽しかったです。素晴らしい 20 代のチェリストが増えていて、嬉しい出会いもたくさんありました。こんな に豪華なチェリストばかりの集い、チェロ協会でなければきっと実現しない ですよね!

・20 代の時の話をお聞かせください

20代の時は留学しながら日本でも演奏させていただいていました。室内楽 やコンチェルトなど、とても忙しくしていました。今、オーケストラで弾き 始めて、ソリストとして一人でやっていた事もとても大切だったと感じます。 オケの中ではチェロのソロが思いのほか多く、20代の頃の経験はとても役に 立っています。

6. 今後どのようなチェリストとして活動していきたいですか

ありがたいことに、やりたいことを沢山やらせていただいています。今は オーケストラの首席奏者としての信頼を得られるように勉強することを目標 に、チェリストとしての上達も目指しながら頑張りたいです。



公演名/川久保賜紀 × 遠藤真理 × 三浦友理枝

日時/2018年9月8日(土)15:00開演

会場/北九州市立 響ホール

出演/川久保賜紀 (Vn)、遠藤真理 (Vc)、三浦友理枝 (Pf)

問/(公財) 北九州市芸術文化振興財団 TEL: 093-663-6661

主催/(公財)北九州市芸術文化振興財団